



粕屋町社会福祉協議会だより

No. 90号

粕屋町地域福祉計画・ 第3次粕屋町地域福祉活動計画 策定始まる



粕屋町社会福祉協議会は、「自らの行動で創造する福祉地域」～安心と生きがいのあふれる地域を目指して～を目的に、地域の方々と共に地域福祉の推進を計画的に行うために、平成18年3月に第1次地域福祉活動計画、平成23年3月に第2次計画を策定して粕屋町の福祉活動に取り組んできました。

今回策定する第3次計画は、粕屋町（行政）の地域福祉計画と一体的に策定して、町民の方々、行政、粕屋町にある関係機関、団体と社会福祉協議会が協働で同じ目的をもって粕屋町の地域福祉を推進していくためにはどうすれば良いかを計画書としてとりまとめ、策定後実践へとつなげていきます。

この計画策定のため、去る7月30日（木）に粕屋町地域福祉計画・地域福祉活動計画第1回計画策定委員会が開催されました。

今後は、この委員会が中心となって協議をすすめていきます。また、町民の皆さまへのアンケート調査、ワークショップ、各種団体に対するヒアリング等を予定しております。その際にご参加頂き意見を伺いたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

もくじ

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 地域福祉計画・地域福祉活動計画について……………② | ひとり暮らし高齢者バスハイク・障がい者研修会・ |
| 地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定体制と方法 | 知的障がい(児)者、発達障がい(児)者親子バスハイク |
| ……………③ | ……………⑤ |
| 子ども障がい者疑似体験教室・中学生ボランティア | 赤い羽根共同募金……………⑥・⑦ |
| 体験教室……………④ | 粕屋町福祉協議会行事予定表(9月～1月) ……⑧ |

元気なボランティアがいる福祉の町かすや

発行/社会福祉法人 粕屋町社会福祉協議会
TEL/938-6844 FAX/938-6886

住所〒811-2317 粕屋町長者原東六丁目5番10号
メールアドレス/kasuya-shakyo@blue.ocn.ne.jp

社協の事業は、赤い羽根共同募金の配分金等によって行われています。

地域福祉計画・地域福祉活動計画について

両計画策定の背景には

近年の日本では、少子高齢化が急速にすすんでおり、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増えるなど、家族規模が縮小し、家族で支え合う機能が弱くなっています。加えて一人ひとりの生活のあり方が多様になり、地域での人と人とのつながりが希薄になっています。

現在わが国では、支援が必要なひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯の増加はもちろんのこと、高齢者などの孤立死、ひきこもり、子育て家庭の孤立、児童虐待の増加、自殺者の増加、貧困の拡大など、さまざまな課題があります。住民の福祉ニーズが多様化し、これまでの公的な福祉サービスだけで十分な対応をすることが難しくなっています。

粕屋町においても、このような地域社会の変化や、福祉ニーズの多様化の動きは、身近なできごととして認識されるようになりました。

両計画の一体的な策定

地域福祉推進のための理念や仕組みをつくる「地域福祉計画」と、それを実行するための活動・行動のあり方を定める「地域福祉活動計画」は、いわば車の両輪のように、地域住民をはじめとする地域福祉の推進に関わるさまざまな担い手の参加と協力を得ながら、取り組みを展開するという共通の目的をもつものです。

これらが一体となって計画が策定されることにより、粕屋町役場と粕屋町社会福祉協議会とともに、地域住民と、民生委員・児童委員や福祉委員、地縁組織である区長会や各種団体、さらに、ボランティア団体、NPO法人、福祉や介護サービス事業所、関係機関・団体など、地域福祉の推進に関わるさまざまな担い手の役割や協働が明確化され、より実効性のある計画づくりが可能となります。

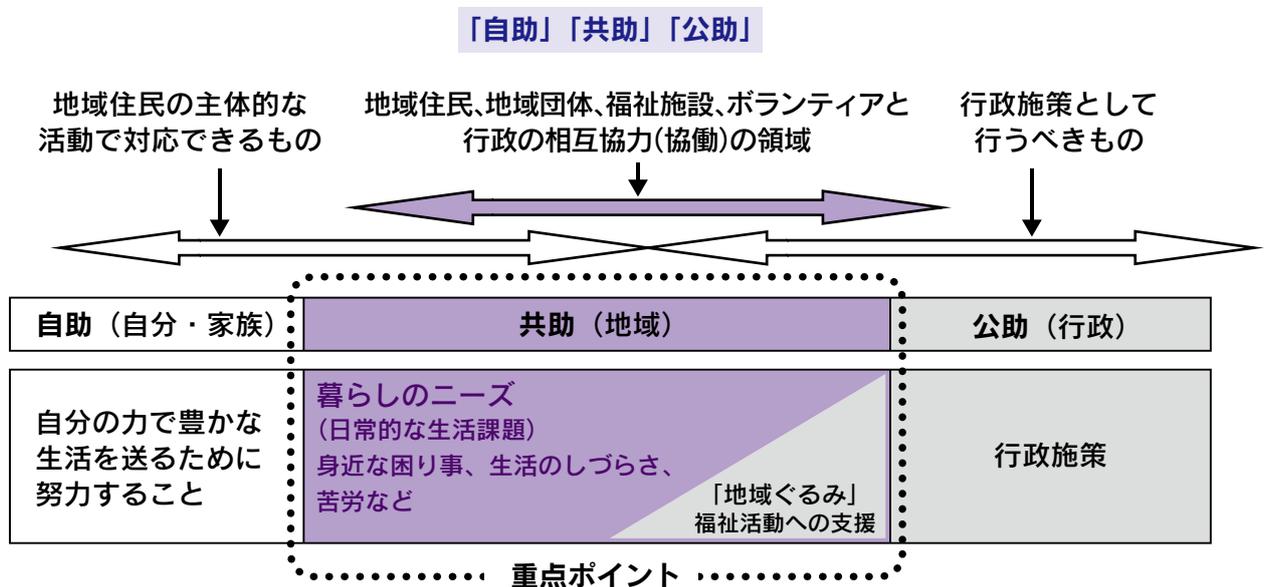
このような考え方にに基づき、粕屋町および粕屋町社会福祉協議会では、地域住民が、身近な地域社会で互いに支え合う仕組みを整えるとともに、地域福祉に関する活動等を積極的に推進するため、両計画を一体的に策定するものとします。

両計画の考え方

この計画は、「地域の助け合いによる福祉（地域福祉）」を推進するため、一人ひとりの尊厳を重んじ、人と人とのつながりを基本として「顔の見える関係づくり」、お互いを認め合い支え合う「共に生きる社会づくり」のための「理念」と「仕組み」をつくるのが目的です。

今後、これまでの取り組みを基盤として、どのように協働づくりを進めるのか、また、「制度の狭間にある人」や多様な生活ニーズへの対応など、生活課題や地域課題を解決していくことができるよう、新たな支え合いの仕組みを構築していかなければなりません。

そのためには、住民・地域団体・福祉施設関係者などがそれぞれの役割の中で、お互いに力を合わせる関係をつくり、住民ボランティアや関係団体の活動、公的サービスとの連携のもとで、「自助」「共助」「公助」を重ね的に組み合わせた「地域ぐるみの福祉」の推進を図っていかなければなりません。



自 助	・個人や家庭による自助努力
共 助	・地域社会における相互扶助（隣近所や友人、知人とお互いに助け合う） ・地域住民・地域団体・福祉施設ボランティアなどによる支え （「地域ぐるみ」で福祉活動に参加して地域で助け合う）
公 助	・公的な制度としての保健・福祉・医療その他の関連する施策に基づくサービス供給

両計画の策定体制と方法

住民意識調査

【内容・方法】

福祉や地域活動、地域福祉活動などに対する意識について、選択回答式調査票の配布による住民意識調査を行います。

【調査対象】

無作為抽出による粕屋町民2,000人（満20歳以上）を対象に調査

ワークショップ (校区座談会)

【内容・方法】

日常的な地域生活のなかで散見される生活や福祉に関する問題・課題、また、それらの解決に向けたアイデアについて、地域福祉に関心のある町民等に参加を求め、各小学校区でワークショップ（住民座談会、意見交換会）を行います。
(9月末から10月頃予定)

分野別課題調査

【内容・方法】

高齢者福祉・介護や児童福祉・子育て支援、障がい(児)者福祉、生活困窮者自立支援、地域活動の分野別に、現状課題などについて、自由記述式調査票の配布による分野別課題調査を行います。

現状・課題の抽出

計画策定委員会

- 第1回：計画策定の趣旨、住民意識調査・ワークショップ等の概要の説明
(平成27年7月)
- 第2回：住民意識調査、ワークショップ、分野別課題調査の結果の報告
- 第3回：計画骨子・計画素案の検討
- 第4回：計画素案の審議
- 第5回：パブリックコメント結果の報告、計画案の審議、承認(平成28年2月)

(平成27年7月30日 第1回 計画策定委員会資料等一部抜粋)

今後このような目的、手法で粕屋町地域福祉計画・第3次粕屋町地域福祉活動計画を策定していきます。アンケート調査、ワークショップ等で現状・課題を明確にして今後の粕屋町の地域福祉に取り組んでいきたいと考えていますので、多くの方々のご協力を宜しくお願い致します。

子ども障がい者擬似体験教室

参加者の声



開催日 6月14日(日)
場所 福岡県社会教育総合センター
内容 アイマスク・高齢者擬似体験
参加者 66名
協力 子ども会育成会連絡協議会

今日の第一回リーダー研修会で一番心に残った事は、障がい者擬似体験をした事です。

最初にアイマスクでの歩行体験をしました。アイマスク体験は、前に一度学校で体験したことがあったので、どんなものかというのは分かっていたけど、アイマスクをかぶると目の前が真っ黒になって何も見えなくなり、少し不安になりました。

一番こわかったのは、階段なんです。手すりを持たないとおりられなくて、いつもなら楽々とおりにすることができるのに、目の前が真っ黒になると階段がおりれなくてとても大変でした。もう一つは、ドアやだん差がある所で、ドアの所ではペアの人が声をかけてくれるけど、ぶつかると予想してしまうのでこわくてゆっくりしか動けませんでした。でも、ちゃんとペアの子が声かけをしてくれたので、転ばず安心して歩きました。

次に体験したのは、手や足におもりをつけて歩いたり階段をのぼったり、おりたりしたことです。特に階段をのぼる時とおりの時がとても大変でした。

おりる時は、足におもりがついていたので足をまげられないから、とても大変でした。のぼる時は、足と手におもりがついているので手すりを持つのもつらくて、のぼる方が足をよく使うのでとてもきつかったです。お年よになると階段をのぼるのも、おりるのも、手すりを使うのもこんなに大変なんだという所が分かりました。

私がこの体験で思った事は、前は目の見えない人や、お年よりの人達がいたら、ただ見ているだけだったけど、これからは、こまっている人などがいたら声をかけたりしたいなと思いました。

広瀬 ゆみさん

中学生ボランティア体験教室

参加者の声



開催日 8月20日(木)
場所 福祉センター
参加者 27名
協力 子ども会育成会連絡協議会

私は最初、このボランティアに参加することを難しく考えていました。

障がいを持っている子とふれあうことは大変だと固定概念にとらわれていました。でも、この活動に参加して考えを改めることができました。

まず、最初に障がいにもいろんな種類があって、その反対に他の人にはできないようなとてもすごい特技や得意な事があるということが分かりました。

また、実際に会っているいろんなことを一緒にやってみると、表情も豊かで感情も表に出せていて、やっぱり小学生だなと思う場面があり、私も自然と笑顔になれました。

宿題を教えるときも、教えるところがないくらいスラスラと解いていて、ビックリしました。私がほめると、少し照れたようにどんどん進めて、もし私に妹がいたらこんな感じなのかなと、とても可愛かったです。

この経験をこれからの進路や自分の成長に生かしていけたらなと思いました。

「進路に役立つ」と聞いて参加してみると、進路だけでなくいろんな事に役立っていきそうだなと思いました。

今回は楽しく、いろいろと考えさせてくれる時間を過ごささせていただき本当にありがとうございました。

粕屋東中学校 武藤 玲さん

中学生ボランティア体験教室参加者氏名

(敬称略・順不同)

粕屋中学校	粕屋東中学校		粕屋町こども育成会 連絡協議会	福岡魁誠高校	ボランティア
秋山 優衣	鬼塚 沙羅	福嶋 萌花	畑島 伸哉	小山田真緒	松山 貴則
白川 葵唯	田中 海奈	大友 沙耶	井上 楓樹	吉本 彩加	坂本 和樹
	武藤 玲	北山 成美	林 笑里	上野 明音	実習生
	工藤 小春	江島 千晴	石橋 世菜	諸岡 美帆	
	杉岡 珠衣	鶴田 崇弥	奥山有里子	大江遼太郎	
	福島穂乃香	匿名	匿名	山村 政人	
				廣瀬 大地	

ひとり暮らし高齢者バスハイク

参加者の声



バスハイク初参加

私がひとり暮らし高齢者になり、2年2か月余りが過ぎいろんな方々にお声掛け頂いたり、励ましの言葉をいただき心強く思い、感謝致しております。今年初めてひとり暮らし高齢者バスハイクに参加させて頂き、楽しく時を過ごさせて頂きました。

昨年のひとり暮らし高齢者と語る会では、お世話させて頂く方に参加させて頂き、懐かしい方々とお逢いすることもできました。この度のバスハイクの事は、地域の民生委員さん、福祉委員さんの優しいお声掛けと行き先が熊本と聞き、迷っていた心が「参加させて下さい」との言葉になっていました。私事ですが、私の実家が今は熊本の宇土市に有り、八代市に妹も居ますが、中々行けずせめて菊水でもとの気持ちも有り、参加させて頂きますとの言葉になりました。

開催日 5月23日(土)
場所 熊本・菊水
きくすいの里
参加者 70名
ボランティア6名

私もボランティアはさせて頂いておりますが、今度のバスハイクは私も含めて多少なり気遣いが必要ですので、お世話下さった方々は大変だったと思いました。バスに乗車させる時は気遣い、車内での氏名点検時、体調の事等、参加者への気遣い大変だな、と思いました。バスで隣の席で初めて逢った方とはすぐ会話ができ、その会話の中で迷い犬猫を育ててあり、飼い主が迎えに来られても、なかなか飼主さんの方へは寄らず、今でも同席の方がお世話をされているとか。自分にシッポを振ってくれる姿を見ていると、心がいやされること等、うれしそうにお話されている姿に、我が家に居る老犬と私との関わり方を反省させられました。我が家の老犬は、目も見えず耳も聞こえず食べることだけが楽しみで、人間も同じだなと思ひ、助け合って生きていかなければと、80歳に成り改めて気付かされました。

又、同じ仲間の集りが有れば進んで参加させて頂きたいと思いました。又、一つ良い催しに出逢ったことを、心から感謝致しております。ありがとうございました。

柴山 タエ子さん

障がい者研修会

参加者の声



障がい者研修会に参加しました。最初に、軽運動や転倒予防に関するお話があり、わかりやすい説明と先生のユーモアのあるお話で会場は笑いが絶えない感じでした。

その後、イスに座ってできる簡単な運動を行い、ゆっくりした体操でしたが自然に体が熱くなり汗がじんわりと出てきました。猫背の私も背すじがピンとなり、すごく気持ち良かったです。

ステップアップでもこの運動を取り入れていこうと思いました。この研修に参加して良かったです。

地域活動支援センター ステップアップⅢ型 岩河内 綾子さん

開催日 6月27日(土)
場所 粕屋町福祉センター
参加者 21名
ボランティア5名

知的障がい(児)者、発達障がい(児)者親子バスハイク

参加者の声



どんぐり村にいきました。生クリームをようきにいれて、しゃかしゃかふってバターができました。そのバターをぬってクラッカーをたべました。おいしかったです。とりのバーベキューもたくさんたべれてよかったです。はじめてうまにのることもできました。ソフトクリームもおいしかったです。

うさぎとやぎにエサをあげたらやぎがたくさんたべたから、うさぎにすこし

しかあげられなかったけどのしかったです。こんどはかぞくでいきたいなとおもいます。

和田 胡波さん

開催日 7月18日(土)
場所 佐賀県
三瀬ルベール牧場・
どんぐり村
参加者 92名

赤い羽根共同募金



ひとり、ひとりのやさしさが、
あなたの住む町を、もっと、やさしくしてくれます。

赤い羽根の募金活動は、町の人々のやさしい気持ちを集める活動です。

あなたのやさしさが、あなたの声かけが、あなたの行動が、
きっと、町を変えていくはじめの一步となるはずです。
もっと、もっと、良いまちになりますように。

(赤い羽根共同募金HPより)

今年も10月1日から12月31日の3月間、全国一斉に「赤い羽根」をシンボルとした共同募金運動が始まります。日頃、さまざまな形で共同募金にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

寄せられた募金は、高齢者福祉、障がい者福祉、青少年福祉、住民全般の福祉（ボランティア活動など）に使用され、粕屋町を良くする活動に役立てられています。

また、大規模な災害が起こった際のそなえとして、各都道府県の共同募金会では、募金額の一部を「災害等準備金」として積み立てています。この積み立ては、大規模災害が起こった際に、災害ボランティア活動支援など、被災地を応援するために使われています。

今日までの町民の皆さまのご協力に感謝致しますとともに、粕屋町が「安心と生きがいあふれる地域」になるためにも、本年度も一層のご理解、ご協力をお願い致します。

赤い羽根共同募金運動で集まったお金は、全額、福岡県の共同募金会へ納入します。その後、粕屋町社会福祉協議会へ配分されます。

社会福祉協議会が行なうさまざまな事業は、この赤い羽根共同募金運動の配分金や香典返し寄付金などでまかなわれています。

(事業以外では、使用していないことを付け加えさせていただきます)

平成 27 年度 粕屋町社会福祉協議会へ配分されたお金 10,495,700円

(内訳)

高齢者福祉活動費として	2,913,000円	障がい者福祉活動費として	1,431,000円
児童・青少年福祉活動費として	2,801,000円	住民全般福祉活動費として	3,350,700円



MATSUDA CO.,LTD.

人に深く、暮らしにあたたかく。
株式会社まつだ

ハートプラザ・空港東 糟屋郡粕屋町仲原2420-1 TEL 092-957-1194	ハートプラザ・平成苑 糟屋郡志免町志免東三丁目14-18 TEL 092-936-2580
ハートプラザ・宇美 糟屋郡宇美町宇美中央三丁目22-1 TEL 092-932-4444	ハートプラザ・立花 糟屋郡新宮町夜白六丁目9-17 TEL 092-963-1000

粕屋町社会福祉協議会葬祭推薦店 あんしん サポートシステム **M CLUB** 「エム・クラブ」

共同募金に係る所得税の税額控除について

★所得税の税額控除について

所得税の税額控除とは、所得税から一定の金額を控除する制度です。

これまでは、共同募金会に寄付した場合の所得税の税制優遇措置は、所得控除のみでしたが、現在は、所得控除と税額控除のいずれかを選べるようになりました。

なお、住民税については、従前から税額控除の適用を受けています。

★所得控除と税額控除の控除額の比較

所得300万円(課税所得165万円)の場合、所得税額は82,500円となります。

共同募金に下記の金額を寄付し、①所得控除を選択した場合と、②税額控除を選択した場合の、控除後の所得税額の比較は下記のとおりです。

(1) 1万円寄付の場合

- ①所得控除を選択：所得税額82,100円 (減税額 400円)
- ②税額控除を選択：所得税額79,300円 (減税額 3,200円)

(2) 5千円寄付の場合

- ①所得控除を選択：所得税額82,350円 (減税額 150円)
- ②税額控除を選択：所得税額81,300円 (減税額 1,200円)

※企業などの法人は、従来どおり全額損金算入できます。

平成27年度 赤い羽根共同募金キャッチフレーズ 『思いやり つなげてみんな幸せに…赤い羽根共同募金』

かまち こうき
蒲池 光輝さん 福岡市立長尾中学校3年 (福岡市城南区)

特別賞対象校

粕屋町からは、粕屋町立大川小学校が受賞されました。おめでとうございます。

たくさんのご寄附・ご寄贈ありがとうございました。

ご寄附

- ・(株)ベルステージ様 3,968円
- ※粕屋町チャリティーイベント(ユアホール
夏祭りの益金をご寄付頂きました)

ご寄贈

- 柴山タエ子様
- ・碁盤
- ・碁石
- 武富 朋子様
- ・マッサージチェア1台

粕屋町社会福祉協議会 葬祭推薦斎場

ベルコ『ユアホール粕屋』



* 最新期の大切な時間を
一軒貸し切りの空間で…

* 密葬、家族葬、一般葬まで～

* 見学・相談いつでも受け付けています。

お気軽にお問い合わせください。



株式会社ベルコ 原町営業所 粕屋町若宮1-11-5-2階

☎092-931-7150 平川まで

粕屋町社会福祉協議会 行事予定表 (9月から1月まで)

※は、社協実施以外の事業です。

	高齢者福祉事業	障がい者福祉事業	児童・青少年福祉事業	ボランティア活動育成事業	福祉育成援助活動福祉事業	その他の事業	会議研修	心配ごと相談実施日
9月	◆高齢者月間ポスター(敬老の日)貼付	◆子育て応援サロン(療育児・親子サロン)12日(土)	◆福祉読本『ともに生きる』感想文提出 ◆ひとり親家庭バスハイク26日(土) ◆子育て出前講座特別編12日(土)		◆社協だより90号発行	※チャリティーゴルフ大会	◆理事会 ◆赤い羽根共同募金会理事会	1日(火) 15日(火)
10月	◆ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業(食)8日(木) ◆老人クラブ演芸大会	◆子育て応援サロン(療育児・親子サロン)3日(土)(仮)		※環境美化活動(ボラ連)		◆共同募金推進 ◆街頭募金運動 ◆県福祉大会	◆理事会	6日(火) 20日(火)
11月	◆ひとり暮らし高齢者と語る会21日(土) ◆第34回シルバー囲碁大会	◆子育て応援サロン(療育児・親子サロン)7日(土)(仮)			◆献血推進活動 ◆地域見守りチラシ等の配布	◆街頭募金運動 ◆戦没者追悼合同慰霊祭12日(木)	◆理事会	10日(火) 24日(火)
12月	◆ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業(婦)10日(木)	◆知的障がい児(者)親の会クリスマス交流会 ◆子育て応援サロン(療育児・親子サロン)5日(土)(仮)	◆幼稚園生活発表会補助				◆理事会	1日(火) 15日(火)
1月	◆ひとり暮らし高齢者見守り活動推進事業(食)14日(木)	◆子育て応援サロン(療育児・親子サロン)9日(土)(仮)	◆福祉読本『ともに生きる』感想文掲載		◆社協だより91号発行 ◆福祉委員研修		◆理事会 ◆赤い羽根共同募金会理事会	5日(火) 19日(火)
通年	◆軽運動・趣味教室の開催(旧シルバー教室) ◆電話訪問活動の実施(月～金 希望者の必要に応じて実施) ◆介護保険事業(居宅介護支援事業) ◆車椅子貸出(随時) ◆鶴寿祝い	◆身体障がい者生き甲斐対策支援通所事業(毎月) ◆障がい児放課後等対策事業(月～金が開催土曜・日曜・祝日は休み) ◆家事・介護支援サービス事業 ◆障がい者団体リフレットの作成 ◆軽度発達障がい(児)者情報提供 ◆車椅子貸出(随時)	◆総合学習支援 ◆キッズルーム開放 ◆子育て情報誌「かすやキッズネット」の発行(月1回) ◆学生ボランティアの育成 ◆親子教室の開催(出前講座・随時)	◆ボランティアセンターの開設(月～金、必要に応じて連絡調整業務実施) ◆ボランティア連絡協議会活動への援助と支援(月～金、必要に応じて連絡調整業務実施) ◆ホームページ(毎月更新) ◆ボランティア活動保険受付 ◆ボランティアセンター登録団体の支援 ◆ボランティア団体レベルアップ研修支援 ◆ボラ連運営委員会(月1回) ◆音訳活動	◆日常生活自立支援事業 ◆生活福祉資金貸付事業他 ◆各区・各団体に対し、随時計画書をもとに説明会を開催	◆町内ふれあいバス(月～金マイクロバス2台で実施) ◆粕屋町福祉センター管理運営 ◆共同募金推進 ◆各種団体支援 ◆各団体活動の場の確保 ◆実施事業の点検評価(ニーズ調査) ◆福祉総合相談 ◆社協ホームページの更新 ◆災害ボランティアセンターの設置	◆第2次地域福祉活動計画推進委員会(状況に応じて実施) ◆粕屋町地域福祉計画並びに第3次粕屋町地域福祉活動計画策定	◆原則(第1・3火曜日実施) ※詳しくは下記をご覧ください

心配ごと相談(無料) 【場所】粕屋町福祉センター 【時間】10時から12時まで

※一部予約制(10時と11時)それ以外の方は、随時受付(※当日受付時間:9時～11時30分まで)

- 弁護士に直接お会いして相談することが出来ます。
- 相談内容は絶対に秘密が守られます。
- 相談料は必要ありません。
- 対象者:町内在住者(※裁判所で訴訟中、弁護士に依頼済みの方は受付出来ません)

※詳しい内容につきましては、粕屋町社会福祉協議会へお問合せ下さい。

久山町 社会福祉協議会 指定店

粕屋町 社会福祉協議会 推薦店



やすぎ会館 かすや斎場

現地にて 斎場見学・事前相談 随時受付中

事前相談「生前お見積り」で、安心とゆとりのある葬儀を。

ゆたかに生きる 無料メンバーズ会員様募集中

メンバーズ会員にご入会いただいた方へ

◆**今なら** 入会金・年会費無料のメンバーズカード (葬儀時に10,000円割引+生花代3%割引)と

◆**さらに** エンディングノート、証書入れを差し上げます

この機会にぜひ、事前相談・斎場見学にお越しください

まずは斎場のご見学から。

ご不明な点・ご質問などお気軽にお問い合わせください

団体でご見学にお越しの方 **送迎あります**

要ご予約 詳しくはお気軽にお問合せ下さい

福岡県糟屋郡粕屋町大字戸原325-2(JR伊賀駅前)

☎092-931-3533

原町駅前交差点を伊賀駅方面へ車で約5分

